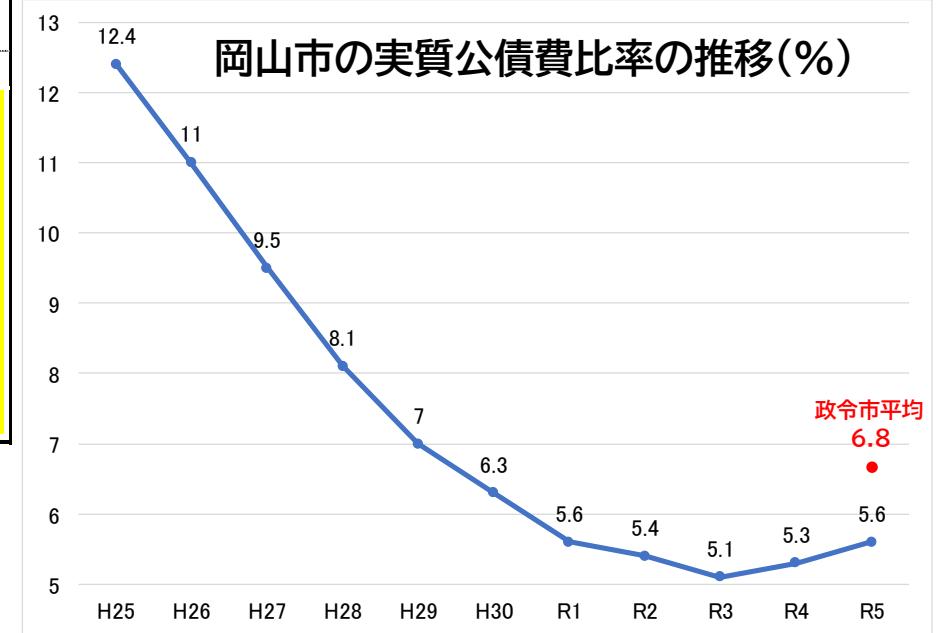
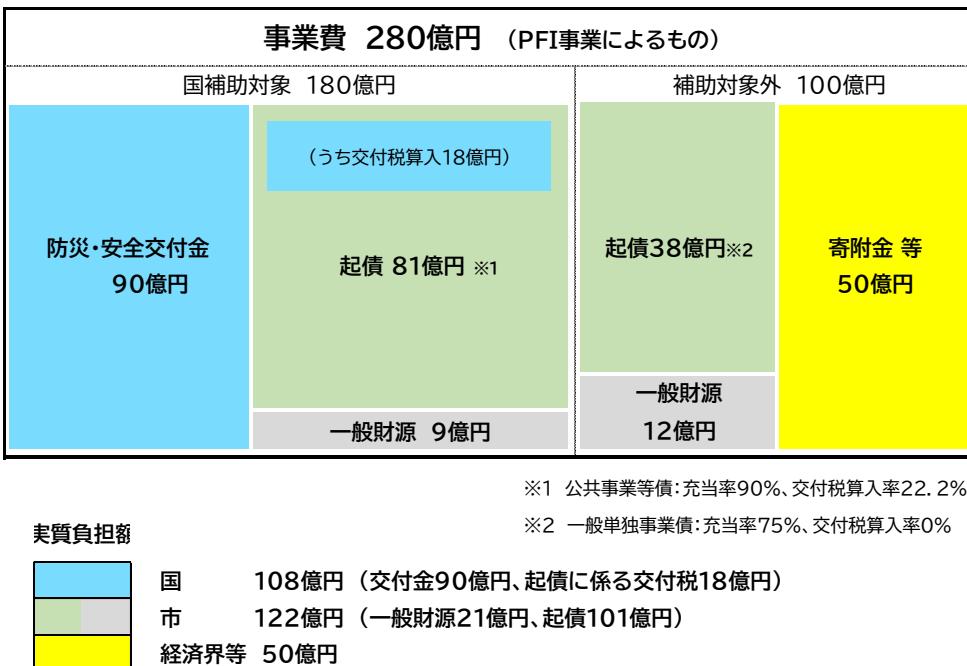


アリーナ整備事業費の財源計画について



岡山市の実質的な負担

○ 交付税算入額を除いた実質的な負担

- 総額:122億円
- 起債:101億円
(81-18+38億円)
- 一般財源:**21億円**
(9+12億円)

○ 実質公債費比率

- 返済額 $101\text{億円} \div 30\text{年} = 3.4\text{億円/年}$
- 実質公債費比率 $3.4\text{億円} \div 2,126\text{億円} = \underline{\underline{0.16\%}}$
- ※ (実質公債費比率) = (返済額) ÷ (標準財政規模 - 交付税措置額)
- ※ 金利は考慮していない

※その他、道路・公園などの周辺環境の整備や、調査・委託費等も必要となる